

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成26年11月)

平成26年11月13日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況											補足説明
			12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	第16回定期検査中 定検停止期間:H23.8.6~	第15回 H19.5.4 ~ H22.8.4 停止期間 H19.5.4 ~ H22.6.6 (1130日) (原子炉起動H22.5.31)	第16回定期検査による停止											
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19~	第11回 H17.9.3 ~ H18.5.9 停止期間 H17.9.3 ~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定期検査による停止											
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19~	第9回 H18.5.12 ~ H18.9.15 停止期間 H18.5.12 ~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定期検査による停止											
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11~	第9回 H18.4.9 ~ H19.1.11 停止期間 H18.4.9 ~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第10回定期検査による停止											
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第13回定期検査中 定検停止期間:H24.1.25~	第12回 H18.11.24 ~ H23.2.18 停止期間 H18.11.24 ~ H22.11.25 (1463日) (原子炉起動H22.11.18)	第13回定期検査による停止											
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H24.3.26~	第9回 H22.10.31 ~ H23.3.9 停止期間 H22.10.31 ~ H23.1.26 (88日) (原子炉起動H23.1.23)	第10回定期検査による停止											
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H23.8.23~	第9回 H22.4.18 ~ H22.7.23 停止期間 H22.4.18 ~ H22.6.28 (72日) (原子炉起動H22.6.26)	第10回定期検査による停止											

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (10月末現在)

10月	0.0%
26年度累計	0.0%
運転開始後累計	55.7%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (10月末現在)

10月	0
26年度累計	0
運転開始後累計	87,487,412

④ ドラム缶発生量(本) (H26年度第2四半期)

当期発生本数	1,126
貯蔵庫累積貯蔵本数	31,351
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (H26年度第2四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,734
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 従業員登録データ(人) (11月4日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	819	2,254	56%
	刈羽村	91	186	5%
	その他	114	923	19%
	小計	1,024	3,363	80%
県外		99	980	20%
合計		1,123	4,343 (3,141※)	—
		5,466		100%
協力企業社数(社)		720		

※ 11月4日の協力企業構内入構者数

⑦ 来客情報(人) (10月末現在)

	10月	年度累計
地元	1,023	6,303
県内	993	5,424
県外	1,346	7,118
国外	57	119
合計	3,419	18,964

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
11月27日	定例の記者説明会
12月11日	次回定例所長会見

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）

平成26年11月13日

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	平成26年 10月24日	発電所 構内	発電所構内（屋外）におけるけが人の発生 について（区分Ⅲ）	—
②	平成26年 11月11日	発電所 構内	発電所構内における作業用車両の燃料油の 油漏れについて（区分Ⅲ）	<p>（発生状況） 平成26年11月10日午前11時25分頃、刈草搬入用車両を運転していた協力企業作業員より、走行中に道路に設置されていたグレーチングが跳ね上がり、車両の燃料タンクが損傷し油漏れが発生したとの連絡を受けました。当社社員が現場を確認したところ当該車両の燃料タンクの一部が損傷し、油が漏れていることを確認したことから消防本部へ連絡しました。燃料タンク内の燃料は油受けにて受けており、油の漏れは停止しております。 なお、地面（アスファルト上）に漏れた油は約40リットルで、吸着マットにて処理をしました。</p> <p>（安全性、外部への影響） 漏れた油には放射性物質は含まれておらず、外部への放射能の影響はありません。</p> <p>（対応状況） 今後、当該グレーチングの処置について検討し必要な対策を行います。 なお、当該エリアについてはグレーチングの処置が完了するまでの対策として、通行禁止の区画処置を行うこととしております。</p>